

令和7年度高砂市環境審議会会議記録

日 時 令和8年2月13日(金)10時から11時30分まで

場 所 高砂市役所本庁舎3階301会議室

出席者 委員:島 正之(会長)
山崎 裕康(副会長)
土川 忠浩
高垣 直尚
坂本 美徳
内田 雅英
青田 テル子<<WEB参加>>

事務局:(生活環境部長)谷井 寛
(生活環境部環境経済室長)松本 匡茂
(環境政策課環境政策課長)勝部 秀雄
(環境政策課環境対策担当主幹)畑 敬二
(環境政策課環境政策担当係長)林 順平
(環境政策課環境保全担当係長)三谷 幸司
(環境政策課環境政策担当)宮崎 彩加
(環境政策課環境政策担当)生嶋 琴実

欠席者 委員:大西 淳二
澤田 佳宏

- 会議次第
- 1 はじめに
 - (1) 生活環境部長あいさつ
 - (2) 会長あいさつ
 - 2 議 題
 - (1) 審議会の会議の公開について
 - (2) 会議録署名委員の指名について
 - (3) 第2次高砂市環境基本計画(改訂版)の進捗状況について
 - (4) その他

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
1 はじめに	
事務局	<p>(開会)</p> <p>○資料確認、審議会についての説明 本日の会議に入ります前に、資料1、委員名簿をご覧ください。今年度は2年任期の途中に当たりますが、人事異動による委員の変更がございますので、ご報告いたします。</p> <p>加古川労働基準監督署長北川忍様に代わりまして、加古川労働基準監督署長、内田雅英様へ委嘱させていただいております。</p> <p>次に環境審議会について、資料2-1によりまして、簡単にご説明いたします。</p> <p>資料2の2ページ高砂市環境保全条例(抜粋)の第65条をご覧ください。</p> <p>審議会は、この規定により設置するもので、環境の保全及び創造に関する基本的事項又は重要事項を調査審議していただくものです。審議会の運営については、資料2-2の環境審議会規則及び、資料2-3の環境審議会の運営に関する規程で定められております。</p> <p>本日の会議につきましては、出席委員7名、欠席委員2名で、資料2-2の環境審議会規則第3条第2項の規定により、過半数の委員の出席により成立することをご報告いたします。</p>
(1)生活環境部長あいさつ	
事務局	それでは、改めて次第に沿いまして生活環境部長よりごあいさつを申し上げます。
部長	○あいさつ
(2)会長あいさつ	
事務局	続きまして、島会長よりごあいさつをお願いいたします。
会長	○あいさつ
事務局	ここからの議事進行については、会長にお願いしたいと思います。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
2 議題	
(1)会議の公開について	
会長	議題1「審議会の会議の公開について」を議題とします。 「高砂市審議会等の会議の公開に関する指針」では、会議を公開することで、開かれた市政の推進を目的としており、この環境審議会についても、この趣旨から公開としたいと思います。事務局、本日の傍聴の申し出はありますか。
事務局	本日、傍聴の申し出はございません。
会長	それでは傍聴者はいないということですので、そのまま進めさせていただきたいと思います。
(2)会議記録署名委員の指名について	
会長	続きまして議題の2です。「会議録署名委員の指名について」でございます。 高砂市環境審議会の運営に関する規定の第7条第2項により、会議録の署名委員は、会長と会長が指名する委員1名となっております。今回は高垣委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	よろしく願いいたします。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
(3)第2次高砂市環境基本計画(改訂版)の進捗状況について	
会長	引き続きまして、議題3「第2次高砂市環境基本計画改訂版の進捗状況について」に移ります。事務局より説明をお願いいたします。
事務局	それでは、第2次高砂市環境基本計画につきまして、その進捗状況を説明いたします。 基本計画は平成29年3月に策定し、令和3年度に中間見直しをしております。 生活環境、自然環境、地球環境、環境学習の4つが基本目標となっております。 本日は、令和6年度における基本目標ごとの成果指標及び、施策の方向性ごとの環境指標の達成状況、各取組の進捗状況についてご報告させていただきます。 ご意見いただければと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

まず、資料3をお願いいたします。WEBの方は画面共有します。
基本目標1の生活環境において、成果指標を示しています。
次に施策の方向性と各取組について主なものを示しています。
この施策の方向性ごとに環境指標を設定しています。
2ページ以降は基本目標2から4まで同様に施策の方向性と主な取組を示しています。

では、資料3の1ページをお願いします。
基本目標1の生活環境において、成果指標を3つお示ししております。
いずれの項目も、概ね望ましい方向性を達成しています。

次に環境指標についてです。
概ね目標値を達成しております。
新幹線騒音環境基準適合率が1地点のみの達成となった要因については、市が毎年度行っているJR西日本への騒音対策に関する要望書の提出に対する回答書において、JR西日本が原因究明に努め、効果的な対策を検討していくこととなっております。

2ページ、自然環境です。
成果指標としては一人当たりの都市公園等の面積が挙げられており、目標を達成しています。

次に環境指標です。
ミシシippアカミミガメの捕獲数、雨水貯留タンク設置助成数以外は概ね望ましい方向性を達成しています。

雨水貯留タンク設置助成数は、申請に基づき実施する制度であるため、増減の調整は困難となります。令和7年度は12月末時点で1件の申請を受け付けています。

ミシシippアカミミガメの捕獲数については、担当部局に確認しましたところ、基本的に水利組合がため池で罟を仕掛け、そこで捕獲されたものを、市が回収・処分している数になります。

令和6年度は捕獲の報告がなかったため、実績が0匹ですが、罟自体は継続して、仕掛けております。

令和7年度は12月末時点で22匹の捕獲実績となっております。

3ページ、地球環境です。
地球環境につきましては、この環境基本計画とは別に、第2次高砂市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定しており、別途、高砂市地球温暖化対策地域協議会にて進捗等を協議しております。

2022(令和4)年度の排出量につきましては、自治体カルテを用いて計算した結果、182万6千トンとなり、これは2020(令和2)年度の189万9千トンから

3.8%、2021(令和3)年度の196万5千トンからは7.1%の削減となっています。

環境指標についてです。

概ね望ましい方向性を達成しています。住宅用太陽光発電設備設置戸数のかつこ書きは国の固定買取制度により公表されている値を示しています。

市営駐輪場台数については、高砂駅裏にあった市営駐輪場が老朽化で廃止したことによって400台の減少となっています。

熱中症による搬送者数の増加については、猛暑が影響していると考えられます。

4ページ環境教育です。

成果指標としては、市役所及び小中学校等が実施する環境に関する行事・環境体験授業の実施数を生活環境、自然環境、地球環境に関することとして項目数を上げています。

自然環境に関することが基準年より増加しています。

次に環境指標です。

概ね望ましい方向性を達成しています。

次に5ページ、各取組の進捗状況調査表です。

先程の施策の方向性を達成するための個別の取組についての進捗状況になります。取り組み数が多いため、評価がB以外の主なものについて説明させていただきます。

7ページの地域清掃活動への支援として地域清掃によるごみ収集の実施が242件と実績を伸ばしています。

環境美化対策の推進として飼い主のいない猫への対策として、不妊去勢手術や猫除け機貸し出しの取り組みは拡充予定となっています。

次に、自然環境についてです。

9ページの農地の保全については現在該当がないため、C評価となっています。

続いて、地球環境についてですが、11ページの地域協議会の実施がなかったため、C評価としています。

電力地産地消について、1月22日に新電力会社の設立に至りましたのでA評価としています。

15ページの廃棄物の適正処理について、マイバッグ、マイ箸、マイボトル等が市民に定着したと判断されたため廃止しており、資料ではC判定となっていますが、事務局で協議し、「判定しない」に修正をさせていただきます。資料は修正し、後日共有させていただきます。

	<p>最後に、環境学習についてです。</p> <p>17ページ水源地の見学についてですが、令和8年度から令和9年度末まで工事を予定しているため、その間は見学の受け入れは不可となります。そのため資料では休止と表記しています。令和10年度以降は状況を見て再開の可否を判断します。</p> <p>19ページには取組評価を一覧表にしています。 C判定の数を修正したものは後日共有させていただきます。</p> <p>説明は以上です。</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。ただいまご説明いただいた内容について、ご質問やご意見がありましたらお願いしたいと思います。対象が幅広いのですが、どの部分でも結構ですので、お気付きの点がありましたらお願いします。</p> <p>オンラインでご参加の青田先生もご意見ありましたら、ぜひお願いいたします。</p>
委員	<p>新幹線騒音環境基準適合地点について、4地点のうち1地点が合格ということでしょうか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりです。4地点のうち環境基準の達成が1地点でした。</p>
委員	<p>JR 西日本の報告書によるものか、高砂市が測定したのかどちらでしょうか。推測でもいいのですが、原因については判明していますか。</p>
事務局	<p>高砂市独自で調査・測定を実施したものです。令和6年度時点でも同様の結果で、その際に JR 西日本の見解として、レールの状態がよろしくないため騒音が出ていると判断し、レールの削正作業を実施するも改善せず。令和7年度に悪化。高砂市に限らず、近隣でも数値が上がっている状態です。原因については判明していない状態のため、高砂市としましても、年に1度、騒音環境対策をしてくださるよう要望を出しています。その中で、原因究明のための調査も早急を実施するよう要望を出しています。</p>
会長	<p>この新幹線騒音の件ですが、近隣の住民の方からの苦情等はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、高砂市におきましては令和6年度及び今年度に苦情は発生しておりません。</p>
会長	<p>ありがとうございます。いずれにしても、JR 西日本に対策を求めていただければと思います。</p> <p>他はいかがでしょう。</p>
委員	<p>2ページ、1人当たりの都市公園等の面積についてですが、人口減少によって1人当たりの面積が上がっているのか、具体的にこの公園が増えたという実績があるのか、いかがでしょう。</p>

事務局	調べさせていただいて後日共有させていただきます。
会長	ありがとうございます。調べていただいて、ご回答いただければと思います。他はいかがでしょうか。
会長	4ページの成果指標で小中学校の環境学習ですが、生活環境に関することは実施数が増加していますが、自然環境・地球環境は 2015 年から徐々に減少しているようなのですが、これが○というのはどういう評価なのでしょう。
事務局	確かに 10 年単位で見ると徐々に減少しているように感じられるのですが、コロナ禍を経まして、多少の増減がありますので評価を○とさせていただきます。
委員	おそらく、小中学校の場合は学習指導要領があり、先生方が限られた時間で工夫されていると思いますし、興味の移り変わりもあるかと思います。 現在は自然環境に関心が高いようですね。3つの項目に分けることについての検討も必要になると思います。
事務局	先生のおっしゃるとおり、数全体は増えているのですが、分野が時代によって変化するため、来年度以降の計画策定時の参考にさせていただきます。
会長	貴重なご意見ありがとうございました。確かに自然環境・地球環境に関することについては着実に数が増えているので、次の見直しの段階で検討していただければと思います。 他はいかがでしょうか。
委員	3ページの網掛けになっている部分について、これは令和6年度の実績ですが、中には 2023(令和5)年度 2024(令和6)年度が混在しており、疑問に思うのですが。
事務局	令和6年度末実績というのは令和6年度に把握できる数値を掲載しておりますので、例えば温室効果ガスの排出量であれば、令和6年度中に 2022(令和4)年度の排出量が確定します。
委員	わかりました。そうしましたら、ごみの排出量についても同様ですよね。
事務局	そうです。
委員	3ページ地球環境の熱中症による搬送者数で、昨今の猛暑は今後も続き、搬送者数も増加することは当然予想されます。90 件というのは増加した数字だと思うのですが、搬送者のうち、重篤かどうかなどの内訳まで把握されていますか。
事務局	現在の搬送者数について、庁内の仕組みとして、クーリングシェルターというものを公共施設等に設け、庁内会議で消防本部から搬送者数の内訳データの提供をい

	<p>いただいています。重症化か否か、どこで救急車を呼んだか、情報共有しております。</p>
委員	<p>厚生労働省としても、搬送者数が右肩上がりとなる予想もしていますが、重症化を防ぐという方向性も検討していただければと思っています。</p>
委員	<p>先ほどの質問で、熱中症による搬送者は事業所ではなく民間という意味でよろしいでしょうか。労働基準法で今年、事業所が熱中症対策を盛り込むことが義務付けられており、事業所は含まれていないかと思うのですが。</p>
事務局	<p>その区別はありません。数字は熱中症による搬送者ですので、事業者等を除いた人数ではありません。場所は路上や、室内といった分け方でデータをいただいています。</p>
委員	<p>質問の意図は、これは環境指標なので、事業所であればそれは労働環境の範疇。指標が少し違うとは思いますが、わかる範囲で結構ですので、環境指標として熱中症搬送者数の位置づけを工夫しないと誤った数値が出るのではないかということです。</p> <p>環境指標として、温暖化が進み、危険であるというメッセージを発信し、熱中症搬送者数が増加している、その対策も講じてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。職場の作業環境が高温になるという労働環境はしっかりしなければいけないですね。</p> <p>市民生活としての環境指標については、データにまとめるのではなく、別で把握させていただければと思います。</p>
会長	<p>現在の環境基本計画での熱中症搬送者数の目標はどのように設定されていますか。</p>
事務局	<p>熱中症搬送については消防の目標程度でしかありません。ご指摘部分は加味されておりません。</p>
委員	<p>捕獲対象がヌートリア、アライグマ、ミシシippアカミミガメの3種類に制限されている理由はなんですか。捕獲依頼実績があったためですか。例えば最近であれば熊等、他の生物の依頼等はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民からの防除依頼に対して市が行うもので、最近イノシシが非常に増えてはいます。ヌートリア、アライグマ、ミシシippアカミミガメは外来種であり、自然環境保護の目的で外来種を防除するため、この3種となっています。</p>
委員	<p>2024(令和6)年度の実績を見ていて、数値目標が標記され、わかりやすい指標になっているところも多くありますが、一方で、適切に行われた、パトロールが行われた、といった形で書かれているところもある。具体的でないところも数値目標をたてられてもいいのではないのでしょうか。</p>

事務局	おっしゃるとおり、できる限り数値目標は指標として立てるべきです。環境基本計画としても可能な限り、数値目標をあげています。来年度の見直しで再度、数値目標について可能な限り取り入れていけたらと考えています。
委員	<p>先述のあった通り、例えば人口や、子ども、高齢者の数等、最低限の市の指標となるものはこの審議会を行う上でも重要であると思います。次回から出してほしいです。</p> <p>来年度からの環境基本計画策定ということですが、このあたり、人口減少や税収の減少にかなり大きく影響を受けると思われますが、どのような方針で進めていかれるのでしょうか。結構継続されているものが多いような気がしますが、今の時点で既に問題等々ありますか。</p>
会長	次回策定時の課題だとは思いますが、今の時点でお答えいただけるのであればお願いいたします。
事務局	<p>ありがとうございます。ご指摘のとおり、この指標を見るうえでの基本的な人口や税収といった現在の状況を示す資料がなく申し訳ありません。資料としましては、基本計画を作成し、基本計画の方針、方向性に見合う事業を各課に照会し、基本計画に即した事業を上げてもらっています。この施策の方向性としては、予算に見合うもの、その予算がなくてもできるものを示しています。例えば令和8年度以降に策定する方向性に基づいた、各担当課の進めるべき事業を上げて参りますので多少変化はいたします。</p> <p>廃止となったものについても随時、即したものがないか検討しております。</p> <p>できるのにしなかった、代替事業に変えた、学習要領の変化というものは区別していく所存です。</p> <p>大きな市全体のデータについて今後お示しできたらと思います。</p>
委員	廃止をC評価とせず、事業から削除してはいかがでしょう。担当課にできなかった理由を確認すれば、予算がない等の理由かもしれません。そうすれば評価の仕方や点数に変化が出ると思います。
会長	環境講座の実施について公民館廃止によると記載がありますが、公民館機能の廃止ですか。それとも公民館自体の廃止ですか。
事務局	社会教育施設としての公民館は廃止し、用途を広げた地域交流センターになりました。
会長	13 ページ、次世代自動車の普及啓発のための充電設備の整備を進めますとありますが、令和6年度は庁舎に設置したものの実績が書かれていますが、市内の充電設備は増加しているのですか。
事務局	市内の充電設備は増加していません。

会長	令和 5 年度より令和 6 年度の方が充電施設の利用回数は減っていますよね。
事務局	これは市役所本庁舎に設置している充電設備の利用回数が減っているということになります。
会長	他の充電設備での利用が増えているのでしょうか。新たに設置した施設はありますか。
事務局	市内の他の充電設備の情報はなく、また利用実績も不明です。昨今は個人住宅で充電をする場合もありますが、その実績も不明です。 電気自動車の補助を市実施していますが、申請数は一時期に比べるとそこまで実績を伸ばしていません。
会長	補助があってもそもそも高価ですしね。
委員	飼い主のいない猫に対する施策は拡充なのになぜ B 判定なのですか。
事務局	猫の対策について、個人で終生飼養する方に不妊去勢手術の補助を出していますが、個人で飼える頭数には限りがあり、現在飼い主のいない猫に対する苦情が年々増加しています。そのため一度にたくさん病院へ連れていける団体に対しても補助を、という拡充のため、B 判定としています。
委員	対象の保護団体は市で盛んに活動されているのですか。
事務局	現在だと把握しているのは1、2団体です。活動具合は他市と同程度と思われます。
委員	11ページの再生可能エネルギーの避難所導入について、どの年度でも調査検討、協議を行うとなっています。ほとんど進んでいないのか、これが一般的なスピードで時間がかかるものなのか、どうでしょう。検討のみでずっと B 判定をつけることに疑問があります。必要なら導入をしていただきたい。
会長	確かに検討しますが多く、評価しにくい状況ですね。次回計画策定時には対策していただけたらと思います。
事務局	例えば、公共施設を新設する際には必ず導入の検討をし、既設のものには導入の不可を評価します。その際、施設の老朽化や設備の問題で検討したが条件が合わない等で設置できない場合があります。その結果、方針はあるものの実現せず、『検討した』になります。新しい目標の立て方や表現を検討したいと思います。
委員	PPA は民間の事業であり、避難所は学校等、地域交流センターや駐輪場の屋根などの公共施設かと思われますが、具体的な計画があるのですか。

事務局	<p>PPA について具体的な計画はありませんが、再生可能エネルギーについては環境基本方針とは別に、公共施設の新設・更新の際に必ず検討をしています。</p> <p>PPA については一定の事業規模が必要であり、避難所については、太陽光発電だけではなく、ごみ発電により電力を受給することもあり得ます。</p> <p>現状が変わってきているので、計画の見直しに反映させたいと考えています。</p>
会長	<p>大体、意見は出尽くしたように思います。ご意見、ご指摘をいただきましたので、事務局の方で詳細を改訂していただいて、また共有していただければと思います。</p> <p>また、目標の立て方についてもご意見がありましたので、それらは第3次環境基本計画策定時にご検討いただけたらと思います。</p> <p>それではこの議題については以上とさせていただきます。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
(4)その他について	
会長	<p>次は、議題4のその他ですが、事務局の方から何かございますか。</p>
事務局	<p>2点ございます。</p> <p>1点目は、資料4-1第3次高砂市環境基本計画策定スケジュール(案)をお願いいたします。来年度は第3次基本計画の策定年になります。4月から計画策定に係る業者選定をはじめまして、委託契約を行います。</p> <p>審議会におきましては、計画内容について、ご審議いただき、答申をいただきたいと考えております。</p> <p>スケジュール案にお示ししていますとおり、審議会を年4回予定しております。第1回で諮問し、第4回で答申をいただきたいと考えております。</p> <p>また、今年の8月には、現在の委員の任期満了を迎えますが、ご都合がよろしければ、引きつづき委員をお願いできれば幸いです。よろしく願いいたします。</p> <p>2点目です。資料4-2とうばんクリーンエナジー株式会社(地域新電力会社)の設立です。</p> <p>高砂市近隣の2市2町で広域ごみ処理施設を運営しておりますが、可燃ごみ処理によって生じた電気を公共施設へ供給する電力の地産地消事業につきまして、とうばんクリーンエナジー株式会社という社名で1月22日に設立しましたので、ご報告いたします。</p> <p>資料として、市のホームページの記載内容をお示ししております。</p> <p>説明は以上です。</p>
会長	<p>ただいまご説明いただきました2つの件について、委員の皆様からご質問やご意見ありましたらいかがでしょうか。</p>

会長	とうばんクリーンエナジーの出資者は2市2町ということですが、出資割合はどのようにして決めましたか。
事務局	<p>出資者はまず高砂市、加古川市、稲美町、播磨町の東播の広域ごみ処理施設を構成している自治体です。それに加えて、電力の需要供給に関して、電力会社とパートナー協定を組みまして、パシフィックパワー株式会社、それとこの会社を収支監査するため地元の銀行、金融機関2社が出資しています。</p> <p>ただ、電気料金等につきましては2市2町でハンドリングできないといけないので、出資率につきましては8割以上を2市2町で構成しています。</p> <p>そのうち、人口割、平等割で加古川市が一番大きく、次に高砂市、あとは稲美町播磨町で均等に分けております。</p> <p>出資金としましては5千万円で、加古川市が42%、高砂市が18%、稲美町、播磨町がそれぞれ11%、パートナー事業者が8%、金融機関がそれぞれ5%となっております。</p>
委員	18ページの環境学習について、アンケートをとっていると伺いましたが、この環境基本計画の策定を市民参加型にし、計画にパブリックコメントを取り入れてはいかがでしょうか。学習の機会にもなると思うのですが。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。可能かどうかはやってみないとわかりませんが、前向きに検討します。
会長	<p>確かに市民参加型で進められれば、非常に望ましいことですね。次期の環境基本計画策定の中で、市としても積極的にお考えいただきたいと思っておりますし、この審議会も同様な形で実施してまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>他はいかがでしょう。オンラインでご参加の委員からは何かございますか。</p>
委員	他にはございません。
会長	<p>ありがとうございます。それでは特にご意見ないようですので、本日予定していた議事は以上となります。活発なご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>それでは進行は事務局にお返しします。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>委員からご意見のありました、都市公園の面積の増減については、正確な数字を把握し、他の修正と併せて情報共有させていただきます。本日お配りした資料3の下部のコメント欄に記載させていただこうと思います。</p> <p>本日の会議はこれで終了いたします。皆様お疲れさまでした。ありがとうございます。</p>

令和 8年 5月 7日

署名委員 島 正之

署名委員 高垣 直尚